

2025 年 6 月 4 日

各 位

株式会社 地域デザインラボさいたま

世界初の機能を持つエッジ AI カメラ技術を活用した
来訪者行動分析実証実験の開始について
～店舗運営における魅力的な空間づくりやサービス提供を目指して～

株式会社埼玉りそな銀行（本社：さいたま市浦和区、代表取締役社長：福岡 聡）と株式会社地域デザインラボさいたま（本社：さいたま市浦和区、代表取締役社長：園田 孝文）は、埼玉県川越市で運営する地域共創空間「りそな コエドテラス」において、東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田 康二）が新規事業開発部門として 2025 年 1 月新たに開設した「未来共創ラボ」と協業して、エッジ AI カメラを活用した来訪者行動分析の実証実験を開始いたしますのでお知らせします。

今回の取組みは、来訪者のプライバシーに最大限配慮した非識別データを活用し、展示・サービス体験の改善や地域価値創造に資する実用的なマーケティングソリューションの開発を今後目指すことを目的としています。一般的に施設運営や店舗経営において、来訪者の行動やニーズを正確に把握することは、より魅力的な空間づくりやサービス提供のために不可欠であり、現在地域の方々が気軽に立ち寄れるコミュニティスペースとして機能し、展示スペース、カフェ、イベントスペースなどを備え、地域住民から観光客まで、幅広い年齢層・属性の方が訪れる場所である「りそな コエドテラス」での実証実験が効果的と判断しました。

エッジ AI カメラとは、撮影した映像をそのまま録画・送信するだけの従来の防犯カメラとは大きく異なり、カメラ自体に AI が搭載された次世代のスマートカメラシステムで、撮影した映像をその場で分析・処理することが可能です。今回の実証実験で使用する機種は、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社（以下 SSS）の世界初 AI 処理機能を搭載したインテリジェントビジョンセンサー「IMX500」を搭載しています。本センサーは、AI 処理により個人を特定せずに有用なマーケティングデータを抽出することを最大の特長としており、プライバシーへの配慮にも対応します。

今後は、本実証実験データ等を関係各社で分析・活用し、埼玉県内の文化施設・商業施設における来訪者体験向上モデルの普及、地元商店街や観光スポットにおける魅力向上支援、自治体と連携した地域全体のマーケティング戦略立案支援、県内事業者のデジタルマーケティング人材育成支援など様々なシーンへの展開を目指していきます。

■具体的な取組概要

本実証実験では、「りそな コエドテラス」内に SSS のインテリジェントビジョンセンサー「IMX500」を活用したシステムを構築し、以下の取り組みを実施します。

1. 展示空間における来訪者行動分析

各展示スペースにおける滞在時間分析、展示物ごとの注目度・関心度の数値化と比較など

2. 来訪者と購買行動の関連性分析

来訪者数と POS データの比較による購買転換率の把握、店舗レイアウトや商品配置の最適化提案など

3. 地域活性化に向けたデータ活用モデルの構築

地域のイベント開催効果の客観的な測定・分析手法の確立、来訪者の属性推計に基づくターゲット層の明確化と誘致戦略の立案など

■実証実験データのマーケティングへの活用**1. 展示物の改善**

来訪者が最も関心を示す展示物や滞在時間の長い展示エリアを特定し、定期的に展示内容を更新・改善する

2. 時間帯別最適化

混雑状況や来訪パターンに応じた人員配置や情報提供の最適化を行い、来訪者満足度の向上と業務効率化の両立をはかる。

3. 地域連携の促進

データに基づいた来訪者像を地域の事業者と共有し、連携したプロモーションや相互送客の仕組みを構築する。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

地域デザインラボさいたま 企画部 Email:otoiawase.labtama@labtama.saitamaresona.co.jp